

神戸市少年団登山教室山行（6月1日）報告

2024. 6. 3

1. 参加者

教室生参加者 17名
引率者 岳連理事4名 加盟団体会員1名
教員ボランティア1名
大学生ボランティア2名

2. 記録

天気 晴れ

9時 六甲ケーブル下駅 教室生 集合

9時20分 六甲ケーブル下駅 教室生 出発

出発前にマダニよけの防虫スプレーを全員にかける。
老人ホーム傍を抜けて「油コブシ」の山道に入る。
木々の葉が生い茂り日差しが遮られて登りやすい。
休憩時に地図読みをする。（頭上の高圧電線を目印に
地図で現在位置を確認する）

もう一つの休憩場所の東屋で、以下の注意をする。

1. 不要な荷物は持って来ない。その分荷物が重くなる。
2. 歩くペースは一定に。ペースを乱すと疲れやすい。
3. むやみに過剰な水分補給はしない。汗に出るだけ。

10時55分 六甲ケーブル上駅東側の自動車道 着

自動車道の途中で以前確認していた「つるウルシ」
を教室生に示し、触れると酷くかぶれることを注意する。

ゴルフ場傍で、「六甲山自然案内人の会」の長尾氏、藤原氏と合流。

一緒に道端の草花の説明を受けながら記念碑台に
向かう。ここでも「つるウルシ」が顔近くに垂れ
下がっていて触れないように注意を受ける。

11時40分 記念碑台 着

記念碑台の広場で昼食休憩

12時30分 記念碑台のビジターセンターでの説明会 開始

「六甲山を知ろう」のパワーポインターを見なが
ら、六甲山の名前の由来、六甲山のでき方、
地質、植生、気候などの説明を受ける。



1 3時05分 野外観察 開始

記念碑台からノースロードを歩きながら道端の草花（モチツツジ、コアジサイ、ツクバヤマボクチ、クロモジ、ヤマシグレ、ベニドウダンツツジ、タムシバ、・・・）など数えきれないくらいの草花の名前とその特徴を教えてもらう。六甲山ホテル手前から記念碑台に戻る。

1 4時40分 記念碑台 発

六甲ケーブル上駅に向かう

1 5時05分 六甲ケーブル上駅 着

1 5時20分 六甲ケーブル上駅 発

1 5時30分六甲ケーブル下駅 着

集合して簡単な話をして解散



3. 準備物

名札・地図（国土地理院地図をダウンロードしたもの）

4. 活動内容と感想

梅雨の季節が始まる6月の山行だったが幸い天気が良く六甲山の登山、記念碑台周辺での野外観察をすることができて得るものの多い山行をすることができた。

今回の山行のメインテーマは記念碑台周辺での野外観察だった。普段、気に留めず通り過ぎていく山道にこんなにもたくさんの興味深い草木があることを教えてもらった。例えば、花の根元がモチモチ粘っこい「モチツツジ」の花、これはアリなどの虫が花に上がって来ないようにしているとの事。逆に花ビラの内側には「蜜標」という模様がある。これはここに蜜があって蝶などの虫に知らせるためにあるそうだ。また、「キクバヤマボクチ（菊葉山火口）」の葉の裏の毛は何に使う？とか「紅ドウダンツツジ」の花と実のつき方の違いなど手に取りながらの説明と体験に驚き感心しきりだった。イタドリは漢字で「虎杖」と書かれる理由を聞いたり、茎を切り取って笛にして遊んだりした。子ども達も説明をただ聞いているだけでなく、進んで発言したり体験したりして我々もそれに感心した。この野外観察を指導して下さった「六甲山自然案内人の会」の長尾氏、藤原氏に感謝します。

今回欠席した教室生が多かった。体調不良の教室生もいたが運動会などの学校行事と重なった教室生が多くいた。梅雨を避けるために今回の日程にしたが来年度の登山教室の日程を組む際に改めて検討したい。



文責 大西